

水稻V溝乾田直播栽培の生育状況（登熟状況）

■ 耕種概要等

- ① 品 種 はれわたり
- ② 圃場造成 秋季耕起、代かき
- ③ 種子処理 種子消毒後に浸種、キヒゲン R2 フロアブル塗抹
- ④ 播種機 V溝播種機
- ⑤ 播種日 4月24日
- ⑥ 播種量 乾粃 10kg/10a 程度
- ⑦ 施肥量 基肥：窒素成分 10kg/10a 程度（LP100）
追肥：窒素成分 2kg/10a 程度（NK化成）、7月17日
- ⑧ 雑草防除 4月23日ラウンドアップマックスロード
（畦畔際の雑草発生量が多かった部分のみ）
5月12日ノミニー液剤
5月31日プライオリティジャンボ

■ 生育状況

当研究所内の水稻V溝乾田直播見本栽培圃の生育状況は、稈長が82cm程度、 m^2 当たり穂数が500本程度でした。

9月7日時点の登熟歩合は87.7%、整粒歩合は90.3%、青米歩合が5.2%でした。粃の黄化程度は85%程度でした。

表 刈取時期別の登熟状況

刈取日 (月/日)	出穂後 積算気温 ($^{\circ}C$)	総粃数 (粒/ m^2)	登熟歩合 (%)	整粒歩合 (%)	青米歩合 (%)
8/30	777	32,320	64.9	66.7	18.1
9/4	889	35,033	79.1	75.8	15.0
9/7	956	27,117	87.7	90.3	5.2

注1) 出穂日は7月30日。

2) 総粃数は刈り取り地点 $0.6m^2$ ($1m \times 3$ 条)の調査値。



写真 圃場の様子（9月10日時点）

■ 適期収穫のポイント

- ・刈取適期は、圃場全体の籾が90%程度黄化した時期を目安にします。また、補助的に枝梗黄化程度、籾水分等を考慮し総合的に判断しましょう。
- ・本年は登熟期間（出穂後40日間）の気温が高めに経過していることから、例年に比べて刈取適期が早まっています。一方で、籾数が多かったり、日照時間が少なかったりした場合には登熟に時間がかかります。圃場ごとに登熟の進み具合をみて刈取りをしましょう。
- ・刈取りが遅れると、胴割粒や茶米粒等の被害粒が増加して品質が低下するため、刈取適期に達したら速やかに刈取りましょう。一方で、刈取りが早過ぎると、青未熟粒や死米の混入が多くなり収量・品質が劣るので注意が必要です。